

『銘傳日本語教育』（第26期）投稿規定

★投稿に関する注意事項

1. 投稿者の資格：特に制限なし。
2. 投稿内容は以下の領域に関する未発表のものに限る。
 - i. ①日本語教育 ②日本語学 ③日本文学・文化
 - ii. 投稿者は投稿の内容に応じて「研究論文」か「実践・調査報告」かを明確にすること。
3. 『銘傳日本語教育』以外の学術雑誌、論文集等に複数投稿された論文は受け付けない。
4. 修士論文、博士論文の一部、及びその翻訳は受理しない。
5. 採用が決定してからの掲載の延期（次号以降）は認めない。
6. 執筆者に対する原稿料は支払われない。
7. 投稿の採否に関わらず、送付された資料は一切、投稿者に返却しない。
8. **第25号から紙媒体での刊行を廃止し、電子ジャーナルサイトに掲載開始される。**

★投稿に必要なもの

投稿者は毎年5月31日（必着）までに、①～⑤を揃え、次の宛先まで郵送すること。

〒33348 台湾 桃園市龜山區大同里德明路5號

銘傳大學桃園校區應用日語學系『銘傳日本語教育』編輯委員会 収

①論文3部

- a. 使用言語：日本語もしくは中国語に限る。
- b. 用紙：A4
- c. フォント：中国語：新細明體、日本語：MS Mincho, 12point 横書き。なお、論文中にアルファベット表記を含む場合も MS Mincho, 12point を使用する。
- d. 字数：30字×30行、全文30ページ以内（中日英要旨・図表・参考資料・注・参考文献を含む）
- e. 余白：上：25mm 下：25mm 左：20mm 右：20mm
ヘッダー：15mm フッター：17.5mm（ページ番号をページ下中央につける）
- f. セクション番号：ローマ数字で表示すること。（1.2.3…、下位分類は1.1, 2.1, 3.1…以下同、0で始まらない）
- g. 注をすべて各ページの下につけること。（1.2.3…、MS Mincho, 10point 横書き）
- h. 注意：投稿者名と所属機関は本文中に明示しない。

②中国語・日本語・英語 各要旨3部

- a. A4用紙（中国語：新細明體、日本語：MS Mincho、英語：Times New Roman）。
- b. 12point 横書き 30字×30行で、各要旨は1ページ以内とする。書式は①に同じ。
- c. 各要旨の下にキーワード（キーワード）を5個以内で記す。
- d. 注意：投稿者名と所属機関は本文中に明示しない。

③投稿者個人資料表1部（銘傳大學應用日語學系系網學術研究或最新消息からダウンロードできます）

④上記①②③資料の電子ファイルをメールにて担当者まで送る。（担当者：王佑心（銘傳大學應用日語學系准教授）電子メール：yuhsin@mail.mcu.edu.tw）

⑤論文審査費 台湾元 2000 元（場合によっては第三者に審査を依頼することがある。その場合は投稿者の負担とする。）

※論文審査費の送金方法につき、ご不明の点がございましたら、どうぞ担当者までお問い合わせください。

※注意-投稿期限を過ぎた原稿は受理できませんので、期限をお守りください。

※注意-書式等の不適格な原稿は受理できませんので、御注意ください。

★審査方法

A. 審査員

銘傳大學が依頼した原稿を除くすべての投稿論文は、2名の審査員による匿名審査を受ける。すなわち、銘傳大學應用日語學系および他大学の専門家数名から構成される『銘傳日本語教育』編輯委員会が、原則として以下の規定に従い、審査を行う。

- a. 審査員には、投稿者の氏名・所属機関名を通知しない。審査は関連領域を専門とする、投稿者より一つ以上職級の高い専門家が行う。
- b. 投稿者と審査員の所属機関は異なるものとする。なお、投稿者が教授の場合は、同職級である教授が審査を行う。
- c. 審査員自身が投稿する場合は、論文審査権は所持しないものとする。審査員が確定した後、匿名にて審査員に論文を送付する。審査員は審査結果と所見を添えて、同様に匿名にて銘傳大學に返送する。所見は投稿者にも転送される。

B. 審査結果

審査員による審査結果は以下の3段階で表示される。

「a. 採用決定」「b. 訂正後採用」「c. 不採用」

C. 投稿論文は審査員2名による匿名審査を受け、うち1名が「c. 不採用」という結果を出した場

合、3人目の審査員再審査を依頼する。

★採用された原稿は論文集で出版される以外、2015年から「臺灣人文及社會科學引文索引資料庫 (Taiwan Citation Index - Humanities and Social Sciences, 略称 TCI-HSS)」にも収録、以下の5機関の雑誌検索システムにも収録されますので、あらかじめご了承ください。(掲載同意書を銘傳大学応用日本語学科のホームページからダウンロードできますので、採用される場合、必ず同意書を同封してください)

1. 国家図書館 <http://readopac.ncl.edu.tw/nclJournal>
2. 遠流/智慧藏學習科技公司 (遠流/智慧藏學習テクノロジー会社)
<http://www.wordpress.com/Airiti.com>
3. 華藝數位 (華芸デジタル) <http://www.airitilibrary.com/>
4. 凌網科技(股)公司 (凌網テクノロジー株式会社) <http://www.hyweb.com.tw>
5. 元照出版月旦法學知識庫 <http://www.lawdata.com.tw>

★『銘傳日本語教育』編輯委員會の連絡先

〒33348 台灣桃園市龜山區大同里德明路5號

銘傳大學桃園校區應用日語學系『銘傳日本語教育』編輯委員會 收

(電話) 886-3-350-7001 内線 3222

★その他問い合わせ

担当者: 王佑心 (銘傳大學應用日語學系准教授) 電子メール: yuhsin@mail.mcu.edu.tw

【要旨の凡例】

中国語の部分

題目(新細明體、粗體 14p、置中)

(空一行)

【摘要】(新細明體 12p、置中)

(空一行)

摘要内文(新細明體 12p)

(空一行)

【關鍵詞】(新細明體 12p) 第一個 第二個 第三個 第四個 第五個

英文部分

題目 (Times New Roman 14p、置中)

(空一行)

【Abstract】 (Times New Roman 12p、中央揃え)

(空一行)

摘要内文(Times New Roman 12p)

(空一行)

【Keywords】 第一個 第二個 第三個 第四個 第五個

日本語の部分

題目 (MS Mincho、太字 14p、中央揃え)

(一行空ける)

【要旨】 (MS Mincho 12p、中央揃え)

(一行空ける)

要約の内容 (MS Mincho 12p)

(一行空ける)

【キーワード】 (MS Mincho 12p) 第一個 第二個 第三個 第四個 第五個

【参考文献の凡例】

中国語の部分 (筆画順)

湯廷池(1999)「閩南語否定詞的語意內涵與句法表現」『閩南語語法研究試論』臺灣學生書店 pp. 85-135

蔡茂豐編著 (2000)『現代日語文的口語文法』大新書局

日本語の部分 (五十音順)

石田敏子 (1988)『日本語教授法』大修館書店

林長河(2003)「応用日本語学科の最終目標についての一考察—理想と現実をめぐって—」『銘傳日本語教育』第6期 pp. 19-49

英語の部分 (アルファベット順)

Clausner, Timothy and William Croft (1999) Domains and image schemas. *Cognitive Linguistics* 10-1, pp. 1-31

Turner, Mark (1991) *Reading minds: The study of English in the age of cognitive science.*

Princeton: Princeton University Press.